

日野皓正 Quintet

Charity Live in
“あおぞら共和国”
(山梨県北杜市白州町)

Supported by
THE LEGEND CHARITY PRO-AM TOURNAMENT

世界の**日野皓正**が
山梨県北杜市に降り立つ!

山梨県北杜市白州町鳥原にあるレスパイト施設“あおぞら共和国”。ここは難病や障害のある子どもとその家族が闘病生活から離れ一時休息ができる「みんなの別荘」。そこにできた野外ステージで**日野皓正 Quintet**がパワフルなパフォーマンスを披露する。



加藤 一平 *Guitar*



石井 彰 *Keyboard*



杉本 智和 *Bass*



石若 駿 *Drums*

日 時：2018年5月12日(土) 13:30 OPEN / 14:00 START

場 所：レスパイト施設 “あおぞら共和国”
山梨県北杜市白州町鳥原2913-134

主 催：認定 NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク

特別協力：一般社団法人
ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント実行委員会

申し込み・お問い合わせ：

E-mail：aozora@nanbyonet.or.jp

Phone：03-5840-5972

- * 入場無料。募金をお願いします。事前の申し込みが必要です。
- * 野外ライブとなりますが、一部椅子席があります。
- * 小雨決行。中止の際はホームページにて告知します。
- * 車でお越しの際は事前に駐車場の予約が必要です。
- * 駐車スペースには限りがございます。ご希望に添えない場合もございます。ご了承ください。



入場無料 = 事前申し込みが必要です
募金をお願いします

website：<https://www.nanbyonet.or.jp/yumeproject/>

2018.5.12 Sat 14:00 Start



日野皓正 日本を代表する世界的ジャズトランペッター

1942年10月25日東京生まれ。9歳よりトランペットをはじめ、13歳の頃には米軍キャンプのダンスバンドで活動始める。1967年の初リーダーアルバムをリリース以降、マスコミに“ヒノテル・ブーム”と騒がれるほどの注目を集め、国内外のツアーやフェスティバルへの出演をはじめ、雑誌の表紙を飾るなどファッションナブルなミュージシャンとして多方面で活躍。1975年、NYへ渡り居をかまえ、数多くのミュージシャンと活動を共にする。その後もヒットアルバムを連発、CM出演など多数。1989年にはジャズの名門レーベル“ブルーノート”と日本人初の契約アーティストとなる。90年以降、「アジアを一つに」という自身の夢のもと、アジア各国での活動を増やしていく。2001年芸術選奨「文部科学大臣賞」受賞。2004年紫綬褒章、文化庁芸術祭「レコード部門 優秀賞」、毎日映画コンクール「音楽賞」受賞。また近年はチャリティー活動や後進の指導にも情熱を注ぎ、個展や画集の出版など絵画の分野でも活躍が著しい。唯一無二のオリジナリティと芸術性の高さを誇る日本を代表する国際的アーティストである。

加藤一平 (gt)

1982年東京生まれ。20歳の時に独学でギターをはじめ、都内各所のセッションで腕を磨き、その後NYに渡り活動する。帰国後、多数のグループのライブやツアーに参加するなど、活躍の場を広げている。

石井 彰 (key)

1962年神奈川生まれ。大阪音楽大学作曲家在学中、ビル・エバンスを聞き衝撃を受け、ピアニストを志す。これまでに数多くの国内外のミュージシャンと活動を共にする。日野皓正グループには1998年より在籍している。

杉本 智和 (b)

1968年千葉生まれ。叔父の影響でジャズに興味を抱きウッドベースをはじめ。パークリー音楽大学卒業後、NYに渡り様々なセッションを重ねる。帰国後は数多くのアーティストのライブ、レコーディングに参加し、精力的に活動している。

石若 駿 (ds)

1992年北海道生まれ。札幌ジュニアジャズスクールにて本格的にドラムを始め、ハービー・ハンコック、日野皓正に出会い多大な影響を受ける。東京藝術大学打楽器科へ進学、卒業。誰しもが今後の動向に注目する若手No1ドラマーである。

あおぞら共和国®

～ みんなのふるさと“夢”プロジェクト ～

北杜市鳥原にある“あおぞら共和国”は、難病や障害のある子ども達と家族を対象とした宿泊施設です。この施設を運営しているのは認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク（難病ネット）といい、事務局は東京にあります。

原因が分からない、治療法が未確立、経過が慢性にわたるなどの小児の難病は700種類を超え、全国で25万人の子ども達が難病とともに過ごしています。難病ネットではこれらの子どもと家族を支援するために昭和63年から活動を進めています。

難病の子どもと家族が出かける際には沢山の荷物をもっていかなくてはなりません。出かけた先への心配事も尽きません。「車いすでもダイジョウブかなあ」「迷惑をかけないだろうか」「食事は無理をお願いできるかなあ」「安心して過ごせるだろうか」……。

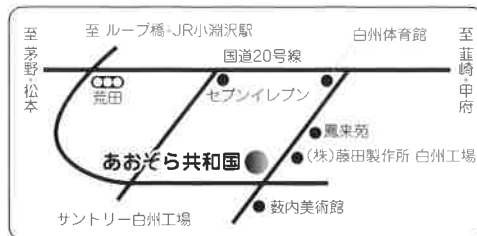
そうした背景から、篤志家の暖かいお申し出もあり、難病や障害のある子どもとその家族が、“いつでも好きな時に訪れ、気兼ねなく過ごせる宿泊施設”（右掲・鳥瞰図）を建設することになりました。

平成26年にロッジ1号棟が完成して利用が始まり、徐々に建設がつつき現在までに5棟が完成し利用されています。利用者の人気も高く、平成29年9月には利用者がのべ3,000人となりました。

施設の運営には多くの地元の皆様のご理解とご支援をお願いしたいと思っています。

“あおぞら共和国”を知っていたら、ご理解を深めていただくことを熱望しています。

今回の「日野皓正 Quintet Charity live in “あおぞら共和国”」に特別協力いただきました一般財団法人ザ・レジェンド・プロアマトーナメント実行委員会様には、2015年9月に宿泊棟（ロッジ4号棟）を、2017年2月に野外ステージを、ご寄贈いただきました。



THE LEGEND CHARITY PRO-AM TOURNAMENT

大会実行委員 青木功 王貞治 日野皓正

ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント

プロとアマチュアが同じ組、同じ条件でプレーする、これまでにない形式のゴルフトーナメント。「ゴルフを通じて社会貢献を」という趣旨に賛同した人たちが集まり、2009年から続けられています。収益金は、病と闘う子どもたちへの支援や、東日本大震災の孤児や遺児を支援する団体・基金の活動に役立てられています。